

7月13日(土)「パラアスリートへのスポーツ医・科学支援のこれまでとこれから」について

本研究所主催で「パラアスリートへのスポーツ医・科学支援のこれまでとこれから」という講演会・シンポジウムを実施となっております。大変好評で多くの参加希望がありました。参加申し込みいただいた皆様本当にありがとうございます。しかし、まだ若干名の余裕がございますので、ご希望の方はぜひ、下記に示しております番号までお電話ください。

TEL：073-488-1933 まで

※申込フォームは締切をさせていただきましたので、必ずお電話までご連絡ください。

スポーツ庁受託事業～地域におけるスポーツ医・科学サポート体制構築事業～

パラアスリートへの スポーツ医・科学支援のこれまでとこれから

日時:2024年7月13日(土)13:00～16:00

場所:フォルテワジマ3階フュージョンミュージアム
フォルテワジマ5階げんき開発研究所

第I部 講演会 13:00～

本研究所とパラスポーツ(指宿 立、田島文博)、特別講演:北田千尋 選手

第II部 シンポジウム 15:10～

「パラスポーツにとっての スポーツ医・科学とは」

中締後、げんき開発研究所内の見学・測定体験



ゲスト 北田 千尋 選手

(車いすバスケットボール)

和歌山県橋本市出身

2020年 東京パラリンピック 6位

車いすバスケットボール女子日本代表主将

2023年 皇后杯で大会8連覇達成

2024年 パリパラリンピック 女子バスケット 主将

シンポジスト



田島 文博 医師

医学博士・リハビリテーション科専門医。和歌山県立医科大学名誉教授。日本パラスポーツ学会理事長。和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座教授在職中に、2009年からげんき開発研究所所長も務める。



指宿 立 特別研究員

理学療法士。2016年げんき開発研究所に着任、2018年には副所長に就任。現在は、パラ陸上選手の指導にも携わり、明野中央病院に勤務するかわらと和歌山県立医科大学特別研究員、国際クラシファイアも担当。



根本 玲 医師

リハビリテーション科専門医・指導医。パラスポーツ医として携わっている(パラ陸上、デフバスケットボールなど)。2024年4月より、本学みらい医療推進センター助教として着任。



後藤 賢二 副所長

博士(スポーツ健康科学)。日本陸上競技連盟指導者養成委員会エドゥケーター。愛知県立高等学校で20年間勤務をする。専門は陸上競技、コーチング学。2024年4月よりげんき開発研究所副所長に着任。

障がい者スポーツに興味はあるけど…
医・科学支援って何…?
そんな疑問にお答えします!

お申し込みは、インターネットで

げんき開発研究所

を検索!

【主催】和歌山県立医科大学 みらい医療推進センター げんき開発研究所

【後援】和歌山県/公益財団法人日本パラスポーツ協会/和歌山県障がい者スポーツ協会/日本パラスポーツ学会